

(株)名縫館



自社の縫製技術と材料で作成した布マスクを寄贈。「色がきれいでかわいい！」と子ども達。

若手農業者有志一同



帰省できない学生に向けてお米を寄贈。「食べて地元とのつながりを思い出してもらいたい。」

トピックス TOPICS 2
市にたくさんの寄附をいただきました

新型コロナウイルス感染症防止対策にと、たくさんの寄附をいただきました。

※4月24日時点での寄附を掲載しています。
※敬称略・順不同

（株）名縫館、（株）オプテックス工業、尾花沢ライオンズクラブ、（株）製麺屋川、大亀頭会、若手農業者有志の皆さん、（株）银山荘、（福）徳良会、皆さん誠にありがとうございました。

(株)製麺屋川



「こんな時だからこそお世話になっている市に」と、寄附金を寄贈。

(株)オプテックス工業



海外での事業展開を活かし、独自のルートで取り寄せた不織布マスクを寄贈。

おお かも あたま かい
大亀頭会



「日中店頭に並んでマスクを購入できない、働く世代の方にも」と、不織布マスクを寄贈。

尾花沢ライオンズクラブ



「子ども達が安心して生活を送れるように」と、不織布マスクを寄贈。

(株)银山荘、(福)徳良会



消毒液を寄贈。庁舎内や市内各施設に設置し、手指などの消毒に使用しています。



区長の皆さんには、地域と市の元気づくりにご協力いただきます。

トピックス TOPICS 1
令和2年度の
区長さんを紹介します

- （尾花沢地区）**
- 中町 鈴木 東
 - 上町第1 鈴木 浩一
 - 上町第2 鈴木 徹
 - 若葉町 小笠 政美
 - 上町第3 間宮 良一
 - 上町第4 笹原 登
 - 上町第5 柴田 文夫
 - 上町第1 鈴木 勲
 - 上町第2 笠原 征男
 - 上町第3 永澤他人雄
 - 上町第4 鈴木 征司
 - 上町第5 塩原 成一
 - 北町 和田 皖
 - 新町第1 大崎 儀治
 - 新町第2 菅野 啓一
 - 新町第3 井上 昇
 - 新町第4 佐藤 好政
 - 新町第5 三浦 勝美
 - 新町第6 奥田 文雄
 - 新町第7 笹原 光政
 - 新町第8 大山 榮一
 - 新町第9 細矢 昭雄
 - 新町第10 杉本 芳美
 - 新町第11 加藤 三雄
 - 新町第12 石塚 清
 - 新町第13 菅原 一美
 - 新町第14 田沢 昭雄
 - 新町第15 牛房野 昭雄

- （福原地区）**
- 和合 菅野 清之
 - 荻袋第1 加藤 静雄
 - 荻袋第2 矢作清次郎
 - 荻袋第3 今野利輝雄
 - 荻袋開拓 阿部 護
 - 寺内第1 渡辺 精一
 - 寺内第2 溝越 清秀
 - 寺内第3 落合 博信
 - 西原第1 東海林勝見
 - 西原第2 溝越 清治
 - 南沢 阿部 勤
 - 野黒沢第1 庄司 薫
 - 野黒沢第2 大内 秀明
 - 野黒沢第3 大類 正法
 - 野黒沢第4 矢作 幸平
 - 野黒沢第5 沼澤 和一
 - 野黒沢第6 佐藤 茂樹
 - 野黒沢第7 名木沢第1 国分 新治
 - 野黒沢第8 名木沢第2 山寺 信秋
 - 野黒沢第9 名木沢第3 庄司 恒一
 - 野黒沢第10 上の原 大類 博行
 - 野黒沢第11 大海平 中根 高志
 - 野黒沢第12 西野々 荻野 太文
 - 野黒沢第13 毒沢 荻野 太文
 - 野黒沢第14 安久戸 菅野 登
 - 野黒沢第15 丹生第1 倉兼 登

- （玉野地区）**
- 丹生第2 本間長三郎
 - 丹生第3 加藤 一夫
 - 正殿第1 倉金 昭善
 - 正殿第2 高橋 守悦
 - 正殿第3 井上 和夫
 - 行沢 阿部 健一
 - 中島 石山 洋幸
 - 押切 吉田 清一
 - 高橋 森山 實
 - 中刈 山口 和徳
 - 大貫 大貫 喜彦
 - 矢越 菅原 正光
 - 関谷 佐藤 良彦
 - 市野々 山口 忠博
 - 岩谷沢 菅藤 卓雄
 - 北郷 大山 功
 - ☆坂本 菅野他美雄
 - 鶴巻田 三浦 正志
 - 母袋 落合 正男
 - ☆下原田 石山富士夫
 - ☆東原 秋場 肇
 - ☆玉野原 岸 幸喜
 - ☆上原田 折原 秀雄
 - 下柳 生田 健一
 - 栗生 遠藤 久芳
 - 寺町 菅原 一好
 - ☆银山 脇本 英治

- （常盤地区）**
- 古殿 石川 文夫
 - 九日町 伊藤 一雄
 - 袖原 有路 政次
 - 三日月町 豊島 幸一
 - 荒町 畑沢 幸一
 - 細野 古瀬 文雄
 - 六沢第1 五十嵐 伸一
 - 六沢第2 梶川 辰雄
 - 六沢第3 間宮 要吾
 - 六沢第4 佐藤 松一
 - 鶴子第1 伊藤 哲生
 - 鶴子第2 西塚 鎮雄
 - 鶴子第3 西塚 鎮雄
 - 鶴子第4 西塚 三男

表彰
市表彰(感謝状)・5年以上
坂木 常義さん(坂本・19年)

4月22日、本間善衛氏（山形市・本間利雄設計事務所顧問）より、芭蕉・曾良・一采・川水による歌仙の額を市へ寄贈いただきました。

江戸時代の俳人松尾芭蕉が大石田を訪れた際、大石田の俳人とも交流がありました。いただいた額は、当時詠まれた歌仙（芭蕉筆）のレプリカで、斎藤茂吉の弟子の松坂二郎氏より譲り受け、本間様宅に長年保管されていたそうです。

この度、芭蕉に縁の深い尾花沢に、贈っていただき、貴重な文化財として有効に活用させていただきます。

トピックス TOPICS 3
芭蕉歌仙の額を寄贈いただきました



歌仙の発句には「さみだれをあつめてすゝしもがミ川 芭蕉」と書かれています。